

# 日本放送協会 理事会議事録

(平成27年12月 1日開催分)

平成27年12月18日(金)公表

<会議の名称>

理事会

<会議日時>

平成27年12月 1日(火) 午前9時00分～9時10分

<出席者>

榑井会長、塚田専務理事、吉国専務理事、板野専務理事、  
福井専務理事、森永理事、井上理事、浜田技師長、今井理事、  
坂本理事、安齋理事  
上田監査委員

<場所>

放送センター 役員会議室

<議事>

榑井会長が開会を宣言し、議事に入った。

付議事項

## 1 審議事項

- (1) 第1250回経営委員会付議事項について
- (2) 「個人番号および特定個人情報の保護に関する基本方針」「個人番号および特定個人情報取扱規程」の一部変更について
- (3) 平成28年度国内放送番組編集の基本計画について
- (4) 平成28年度国際放送番組編集の基本計画について

## 2 報告事項

### (1) 放送番組審議会議事録（資料）

#### 議事経過

##### 1 審議事項

###### (1) 第1250回経営委員会付議事項について (経営企画局)

12月8日に開催される第1250回経営委員会に付議する事項について、審議をお願いします。

付議事項は、審議事項として「平成28年度収支予算編成要綱」、「平成28年度国内放送番組編集の基本計画について」、および「平成28年度国際放送番組編集の基本計画について」です。また、その他の事項として「平成27年秋季交渉の結果について」です。

(会長) 原案どおり決定します。

###### (2) 「個人番号および特定個人情報の保護に関する基本方針」「個人番号および特定個人情報取扱規程」の一部変更について (情報公開センター)

平成27年10月に策定した「個人番号および特定個人情報の保護に関する基本方針」と「個人番号および特定個人情報取扱規程」の一部を変更したいので、審議をお願いします。

変更点は、次のとおりです。

1点目は、確定拠出年金関連の記載の追加です。27年10月30日付の厚生労働省の省令により、「確定拠出年金の給付に関する事務」に個人番号を利用するにあたり、この事務を金融機関に委託している委託元NHKの規程や業務委託契約書にも、その旨の記載が必要となったため、追加します。

2点目は、関連団体の特定個人情報等の保管に関する記載の追加です。新たに、関連団体の特定個人情報等をマイナンバー管理システムに保管することになったことに伴い、取扱規程にその旨の記載を追加します。

そのほか、軽微な事項の修正を行いました。

本件が決定されれば、平成27年12月4日付で実施します。

(会長) 原案どおり決定します。

(3) 平成28年度国内放送番組編集の基本計画について

(編成局)

平成28年度国内放送番組編集の基本計画について、審議をお願いします。

28年度は、メディア環境が激変する中、世界から注目される2020(平成32)年を見据えて「挑戦」と「改革」をさらに進めていきます。国内外に難問が山積し、国際化や社会のつながりの希薄化が進む今、人々の判断のよりどころとなる、正確な報道と豊かで多彩なコンテンツを充実し、全国のネットワークを生かして積極的に日本を世界へ発信し、「情報の社会的基盤」の役割を果たしていきます。

まず、国内放送番組の編集にあたっては、事実に基づき、公平・公正、何人からも干渉されない放送の自主自律と不偏不党を貫き、公共の福祉や社会の健全な発展、人々の命と暮らしを守る、公共放送の「原点」を堅持します。そして、日本と世界の課題を読み解き、新しい手法も駆使した深い取材に基づくニュース・報道番組、幅広い世代の期待に応える創造的な文化・教養・娯楽番組など、質の高い放送を実現します。メディアが多様化していく中で、テレビならではの魅力を発信し、幅広い世代の視聴者の心をつかむコンテンツを充実させます。

また、日本では深刻な自然災害が相次ぐようになっていきます。全国の放送局は地域に密着し、防災や減災につながる情報発信と体制作りに努めます。引き続き、東日本大震災の被災地を支援する番組にも取り組みます。

さらに、スーパーハイビジョン(8K・4K)試験放送が始まり、改正放送法も2年目に入ります。最先端の高精細映像による番組制作や、インターネットを活用した新たなサービスをより一層、強化します。

そして、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックが開かれる28年度は、2020年東京オリンピック・パラリンピックへ向けて本格的なスタートとなります。リオデジャネイロ大会では、今までにない魅力あるオリンピック・パラリンピックの放送の技術開発と番組制作に

挑み、東京大会で目指す世界最高水準の放送・サービスにつなげます。

28年度、NHKは「より身近で、信頼できるメディア」への発展と将来の「公共メディア」への進化を見据え、挑戦と改革を加速します。

編集の重点事項は、「1.『命と暮らしを守る』報道に全力を挙げ、東日本大震災からの復興を積極的に支援」、「2.日本や世界の課題に向き合い、人々から信頼される報道・番組を充実」、「3.視聴者の幅広い期待に応えて、見応えある魅力的なコンテンツを開発・制作」、「4.地域の『安全・安心の拠点』となり、地域活性化に積極的に貢献」、「5.2020年東京オリンピック・パラリンピックへ、本格スタート」、「6.新たな可能性を開く放送・サービスを創造」、「7.日本を世界に、発信を強化」、および「8.“人にやさしい”放送・サービスの拡充」の8項目です。

以上の重点項目の実施にあたっては、「国内放送番組編集の基本計画」が放送サービスとして実現されているか、録画視聴やインターネット利用も含めたNHKへのトータルな接触を把握する指標の整備を進め、より適切な評価・管理体制を作ります。また、スーパーハイビジョンの試験放送で通常番組（2K）との一体制作を拡大するなど、限られた経営資源を効果的・効率的に活用し、ニュースや番組を充実させます。さらに、人材育成で、事実に基づき正確に伝える放送倫理の原点を徹底。コンプライアンス意識を組織全体で共有し、確かで正しい情報と質の高い番組の提供に努めます。

本件が了承されれば、12月8日開催の第1250回経営委員会に審議事項として提出するとともに、12月21日開催の第621回中央放送番組審議会に諮問します。

(会長) 原案どおり了承し、次回の経営委員会に諮ります。

(4) 平成28年度国際放送番組編集の基本計画について

(国際放送局)

平成28年度国際放送番組編集の基本計画について、審議をお願いします。

国際社会では、政治、経済、安全保障、人権などをめぐり、深刻な対立と新しい秩序への模索が同時進行しています。情報があらゆるメディアを通じて、瞬時に地球を駆けめぐる今日、日本の公共放送NHKが発

信する国際ニュースへのニーズが高まっています。また、東京オリンピック・パラリンピックを4年後に控え、海外発信のさらなる強化も求められています。

「NHKワールド」は、国際放送が果たすべき責務と期待される大きな役割を自覚し、NHKの総力を挙げて、正確で客観的なニュースや、幅広いコンテンツを発信することで、世界から選ばれ、信頼される国際放送を目指します。

英語による外国人向けテレビ国際放送「NHKワールドTV」は、「NHK経営計画2015-2017年度」の2年目にあたる28年度、さらに骨太な編成で、成長をいっそう確かなものにします。毎正時に放送している基幹ニュースを、北米やアジアをより意識した構成にするなど刷新します。さらに、新たなインタビュー番組を開発し、大型ニュース番組と連続して編成することで、平日夜間を強化します。また、国内放送との連携をさらに強化し、NHKならではの大型コンテンツや、日本各地の魅力を紹介する番組を積極的に発信します。

在外邦人向け日本語チャンネル「NHKワールド・プレミアム」は、ニュースや情報番組を通じて、日本のいまを伝えます。地震、津波などの自然災害や、事件・事故などの緊急事態発生時には、迅速に国内ニュースの同時放送を行い、正確な情報を提供します。

ラジオ国際放送「NHKワールド・ラジオ日本」は、ニュースのほか、産業・技術・文化・芸術など多彩な情報、全国各地の話題などを、日本語を含む18の言語で全世界に発信します。また、在外邦人のライフラインとして安心・安全を支える情報を届けます。

インターネットサービス「NHKワールド・オンライン」では、VOD（ビデオ・オン・デマンド）サービスの大幅な拡充や、放送番組を同時提供するアプリの改善・開発を進めます。また、ホームページをさらに使いやすく改善するとともに、SNSを積極的に活用するなど、インターネットを通じて、「NHKワールド」をさらに身近なものにします。

本件が了承されれば、12月8日開催の第1250回経営委員会に審議事項として提出するとともに、12月15日開催の第620回国際放送番組審議会に諮問します。

(会長) 原案どおり了承し、次回の経営委員会に諮ります。

## 2 報告事項

### (1) 放送番組審議会議事録（資料）

編成局と国際放送局から、中央放送番組審議会、国際放送番組審議会、全国の地方放送番組審議会（関東甲信越、近畿、中部、中国、九州沖縄、東北、北海道、四国）の平成27年10月開催分の議事録についての報告。

注：放送番組審議会の内容は、NHKのホームページ「NHKオンライン」の「経営情報」のなかに掲載しています。

以上で付議事項を終了した。

上記のとおり確認した。

平成27年12月15日

会 長 靱 井 勝 人